

さまざまな職種で働く在日米軍従業員 Introduction of USFJ Employees

在日米軍基地で活躍している、さまざまな職種の従業員を紹介します。

キャンプ カウンター・アテンダント

瑞慶覧 AAFES 沖縄エクステンジ 仲村 まりか さん



米海兵隊員とその家族の沖縄赴任中のクオリティオブライフ (生活の質)を向上させるためのお手伝いをしています。

キャンプフォスター(キャンプ瑞慶覧)のタコベルで、スーパーバイザーとして働いています。タコベルは、アメリカでとても有名なレストランチェーンで、タコス、ナチョス、ケサディーヤ、プリトー等のメキシコ料理を販売しています。お客さんのほとんどが常連さんなので、注文される前に、何をオーダーしたいのかが分かります。おいしい料理を早く、確実に、親切に提供してお客様の満足した様子を見るのが楽しみです。私が基地で働くようになって、はや5年になります。高校を卒業してすぐキャンプフォスターから1時間ほど離れたところにある、キャンプハンセンのタコベルで時給制臨時従業員のカウンター・アテンダントとして働き始めました。それから3年後には常用従業員のスーパーバイザー職に就き、後に自宅から近いキャンプフォスターに移りました。米軍基地では、たくさんの能力向上、昇格の機会があります。そして、労働条件、福利厚生、与えられる機会は、男女平等です。この組織の一員として働けることをうれしく思い、これからもここで私のキャリアを続けていきたいと思っています。



横須賀 火災防護検査職

海軍施設 米海軍日本管区司令部 消防隊 三浦 楓 さん

消防隊長(艦上)

米海軍司令部 消防隊 唐岸 一郎 さん



人々が安心して過ごせる防火環境づくりをめざして。

救助技術、戦艦火災対応は世界レベル。

横須賀基地消防隊予備隊では主に基地内の建物や施設等への立ち入り検査を実施し、検査結果に関する書類作成とその後、適切な処理がされているかの確認まで対応します。加えて、基地内外での消防イベントのサポート・防火予防週間を通じて基地従業員や住人の方々、学校の生徒などに火災安全教育、避難訓練、消火器訓練等も実施しています。普段は関りが少ない基地内の住人や幼稚園・小学校の生徒たちと防火知識を共有でき、感謝して頂くことはこの仕事の魅力の一つです。

又様々な現場において、判断力や広範囲な知識・コミュニケーション能力も活かせる仕事です。これからも、地域の方々と助け合いながら、人々が安心して過ごせる「防火環境づくり」に努めていきたいと思っています。



私は米海軍日本管区司令部消防隊で、横須賀基地の地区隊長として働いています。部下である消防隊員の日常業務、スケジュール管理、人事異動、緊急出動、その他全てにおいて監督者として責任のある立場である事を常に意識しながら仕事をしています。我々消防隊は、関東には横須賀地区の他に池子地区、根岸地区、厚木地区があり、又佐世保地区、沖縄地区など日本国内に15の消防署をもち、400名以上の職員が働いています。隊員は消火活動や救急活動、近隣の日本の市消防局との相互協定(お互いに大きな災害対応は協力し合う取り決め)に基づく合同訓練も頻繁に行います。また第7艦隊への消火支援も大切な業務の一つです。2020年7月にサンディエゴで起きた戦艦ボノムリシャルの大火災を教訓に年間30回以上第7艦隊の駆逐艦や巡洋艦、そして空母と火災対応訓練を行います。米軍基地をよく知らない皆さんは、米海軍基地の消防隊に日本人が勤務し活躍していることによく驚かれますが隊員は日本人です。上司はアメリカ人なので英語で話す機会が多いです。自分はあまり得意ではないので周りに助けられながら、英語の習得に意欲を燃やしつつ、毎日やりがいを感じながら仕事をしています。

嘉手納 警備員監督

飛行場 第18憲兵中隊 宮城 正利 さん



地域社会貢献に努めます。

第18航空団嘉手納基地は、太平洋の重要拠点(キーストーン)として知られ、地域の平和維持に重要な役割を果たしています。その嘉手納基地の憲兵隊で兵隊達と共に、基地の安全を守り、地域社会の平和な環境づくりに貢献できるという事を誇りに思っています。私はゲートでの勤務、パトロールの経験を経て、現在は警備員監督として数十人の隊員の監督と指導・育成を任されています。以前は、自分が訓練で習った事を実践で活かした時や、人から感謝された時などにこの仕事のやりがいを感じていましたが、今は後輩達が日々の仕事をしっかりとこなし、厳しい訓練に耐え、成長していく姿を見て、この仕事をやっていて本当に良かったと感じています。これからも、沢山の訓練と実践を通して多くの若い隊員を育成し、地域社会への貢献はもちろんの事、アジア太平洋地域そして世界の平和を守るために活躍できる人材を育てていきたいと思っています。



岩国 板金工

飛行場 施設部維持課 渡邊 吾朗 さん

快適な職場をつくります。

米軍岩国基地施設部溶接工場は、鉄パイプや鉄板などの切断や溶接、鉄製のドアや戸車の組み立てや取り付け、ピットカバー・ブラケット・フレーム・支柱などの組み立てや修繕など、溶接に関連した仕事を行います。

私の仕事は現場での監督(フォーマン)業務です。安全で安心な作業が行われる様に作業計画を立てています。また、オーダーを受け取り、図面、材料確認をして、現場での適切な人材配置を行っています。

工場では溶接作業がメインの仕事です。金属を接合した溶接は人が書く文字と同じで、各個人の個性が有り、誰が溶接したものかすぐ分かり、おもしろいと思います。

私が溶接工になった頃、職人の世界では、仕事は見て覚えろ、という風習でしたが、今は職人が若い溶接工に知識や技術を分かりやすく、親切に教えていて、若い人でも入りやすい職場になってきていると思います。

工場では毎朝作業前、5分程度のミーティングを行い、事故の無い安全な職場を目指しています。ずばり目標は、安全で快適な職場環境をつくることです。

※フォーマン:技能・労務関係の業務に従事する従業員を監督する職位。



佐世保 冷蔵及び空気調節機械工

海軍施設 極東施設技術部隊 佐世保施設営繕課 加藤 雅史 さん



前職が異分野でも研修制度が整っていて安心です。

米海軍佐世保基地内の施設全般に対する空調機器や冷蔵・冷凍設備の新設、修理、予防保全等の維持管理が主な仕事です。

基地内の主要な建物は、全て空調設備が完備し、万一その運転が停止するような事になると、緊急事態として早急な対応が求められます。

私達は高い技術力と良好なチームワークを駆使して、原因究明と迅速な復旧に努めます。お客様から感謝の言葉を頂く事が、大いにやりがいを感じます。

入職する前は、全く違う分野の仕事に従事していた事も有り、職務を果たしていく事ができるかととても不安でしたが、この職場は研修制度が整っていますので、必要な技術研修などは望めば積極的に受講することが可能です。これからも、技能・知識・技術資格の取得などに併せ、英語力も身に付けながら、一日も早く職場の重要な柱の一つになる事が私の一番の目標です。



キャンプ 技師職

座間 米陸軍工兵隊日本地区本部 トムブリン 美香 さん



建物が完成し、引渡しが完了した際にはやりがいを感じます。

基地内の施設の新築工事の立ち上げ及び企画書の作成から建物の引渡しまでを担当します。新築工事は、竣工するまで一事案につき約10年かかります。一つの建物を作るには関係者各位との交渉や調整が多く必要です。時間をかけて調整していった建物が実際に建ち、使用者に引渡しが完了した際にはやりがいを感じます。調整内容によっては、時差の異なる地域を何箇所も結び電話会議をこなしますが、やはり英語では苦戦します。今後はさらに英語力を磨き細かい調整もできるようにがんばりたいと思います。



キャンプ座間 ジャニター

DPWオペレーションズ/メンテナンス部 赤石 達大 さん



ピカピカになった施設は愛着が湧き、達成感も得られます。

キャンプ座間や相模原住宅地区内の施設を清潔かつ整然と衛生的に保ち、施設を利用する方々が快適に過ごせる環境を提供する清掃業務に従事しています。

担当エリアにおける建物の床、壁、天井の清掃、掃除機かけ、ガラス拭き、ブラインド清掃、ごみ収集、トイレやシャワー室の清掃、消耗品の補充等可能な限りの清掃業務を行っており、その作業一つ一つにとてもやりがいがあります。トイレや廊下など、私が清掃する場所が毎日キレイになっていく実感をわれ、とても達成感を感じる仕事です。

より多くの方々に気持ちよく施設を利用していただけるように、丁寧に作業をすることを毎日心掛けています。



横須賀海軍施設 フォークリフト運転手

国防省カミサリー 黒川 武志 さん



赴任してきた人達の快適な暮らしを支えています。

横須賀米海軍基地のカミサリー(スーパーマーケット)でフォークリフトオペレーターとして働いています。商品の受け取り、保管、棚出しの仕事の監督職(フォーマン)です。フォークリフトの運転能力、英語力、商品の管理能力、コミュニケーション能力を活かすことができます。

カミサリーストアは、アメリカから日本に赴任してきた人達の快適な暮らしを支えています。米国の食料品、雑貨と日本の食品を提供しており、私達が基地の人々の生活を支えていると感じます。特に台風や地震などの災害時には、水や缶詰を手にしてホッとされるお客様を見る度に、私達の仕事がいかに大事かを感じます。

職場には優秀な方が沢山いて、従業員全員が一生懸命業務に取り組んでおり、改善点を模索することを怠らず、日々精進し続けています。皆でもうワンステップアップして、さらに皆様に喜んで頂けるお店にしたいです。



横田飛行場 小売店マネージャー

AAFES横田エクステンジ 相原 ありさ さん



米軍特有のプログラムを活用して、さまざまなことに挑戦しながらステップアップしていきたいです。

私が在日米軍基地で働きたいと思い始めたきっかけは、子供の頃に訪れたフレンドシップフェスティバルで、アメリカ軍属のファミリーの方がとても優しく接してくださったのが嬉しかったからです。当時は上手くコミュニケーションをとることができませんでした。その当時から異文化に興味を持ち始め、自身の人生の岐路に立った際に、基地で働いてみようと思ったのが始まりでした。最初に働き始めたのは、在日米海軍厚木基地でカウンターアテンダント職として約3年勤めました。この職場では様々な人種や国籍の方と触れ合う機会に恵まれ、ネイビーボールやクリスマスパーティーといった海軍ならではの行事に従事することができ、充実した日々でした。

仕事が慣れてくるにつれ、次へのステップアップを模索し始め、次のチャンスを掴んだのは今の職場である、在日米空軍横田基地のAAFESのリテール・シフトマネージャー職でした。

今までとは全く異なる職種で、前職と同じサービス業ではありますが、お客様の流れも、時間の流れも全く異なる職場で初めは悪戦苦闘の日々でした。特に、マネージャーという立場なので時間の管理、優先事項、そしてアソシエイトとのコミュニケーションが重要であり、責任ある立場なので、日々の計画がとても大切です。

AAFESには様々なプログラムがあり、そのうちの1つであるRetail Management Academyという約4か月に亘るコースを受講しました。このコースはマネジメントに必要である経営、財務、人事に関する授業をアメリカ人も同様に受講する形式になっています。このプログラムを受講することで、AAFESの企業方針や、今まで知らなかった細かな知識を身に付けることができたので、とても良い経験になりました。

こういった挑戦ができるのも米軍基地特有なものだと思います。これからもさまざまな事に挑戦して次へステップアップしたいと思います。



三沢飛行場 水質分析職

35CES/CEOIU 第35施設中隊 上下水道課水質分析室 橋本 博子 さん



安心安全に住める生活環境を目指して。

私は三沢基地上下水道課の飲料水や下水の水質分析職の仕事をしています。三沢基地では、地下水や基地に隣接する湖水の水を使って飲料水を作り基地内に提供しています。飲料水を作る過程は自然界とも関わりがあり、季節毎の天候や住んでいる周りの自然環境からも影響を受けます。水の流入量、薬品注入量等を調整し、安全な飲料水を提供するために日々、適切なオペレーションが行われています。また、下水(排水)に関しても同様で自然界からの影響、各家庭、職場からの排水を排水基準に基づいて処理し環境汚染にならないように放流しています。水質分析室では、それぞれの工程の中で、現場から飲料水、下水をサンプリングして水質分析を行い、オペレーションが適切に行われているかどうかのチェックをしています。水質分析業務に当たっては色々な知識や技術も必要になりますが、水質分析職だけでなく、送水装置操作工、汚水処理装置操作工など上下水道課全員で連絡を取りながら協力し合い知識や技術の向上に取り組み、安心安全な生活環境を目指し業務をしています。

キャンプ瑞慶覧 人員又は人力調整事務職

兵站補給部(G4) 宮城 実里 さん



円滑な職場環境作りを心掛けています。

私は沖縄県の海兵隊基地にあるG-4のモーター・トランスポート・ブランチ(輸送部)で働く日本人従業員のベースパスのリクエスト、人事措置、勤務時間表の記録、管理などしています。私たちの部署は海兵隊基地のキャンプ・ハンセン、キャンプ・フォスター、キャンプ・キンザーにあり、そこで働く日本人従業員は総勢200名を超えます。モーター・トランスポートの主な役割としては物資や機材、重機の輸送、車両の貸し出し、そして海兵隊員を安全に基地から基地へ送り届けること、さらに非戦闘車両のメンテナンスや修理を行います。車両を取り扱う職務ということもあり、ここで働く日本人従業員は日々、高い意識を持って働いています。私は事務職ではありますが、運転手や整備士の方と積極的に会話し、職場全体が上手くコミュニケーションが取れる様に日々、心掛けています。そこで日米友好の最前線で働ける事の喜びや誇りを感じることができています。他の部署から異動してきて間もなく、新しいことを学ぶ機会もありますが、自分が培ってきた知識でこちらの部署で貢献できる様、そしてその中で自分自身もスキル・アップ出来るように一日一日を頑張りたいと思います。

キャンプ座間 情報処理技術専門職

在日米陸軍司令部人事担当 塩入 隆裕 さん



在日米軍人とその家族の仕事や生活をサポートしています。

在日米陸軍司令部内でIT支援業務に従事しており、端末の操作方法から、システムの障害対応まで多岐にわたります。さらに在日米陸軍では多種多様な人員を採用すべく、ソーシャルネットワーク(SNS)を活用し、求人募集も行ってあります。日本全国で在日米陸軍での現地雇用の仕事を認知してもらえよう努めています。

現在は、米軍司令部、日本政府の関係各署と連絡を取りミーティングに参加し、インターネットから募集可能な採用情報及び求人システムを導入する為の調整を行っています。最終的に求人募集の案内から採用までの全てのプロセスをオートメーション化し、よりスピーディーに新規従業員の採用につながるよう、IT専門職として人事部を支援しています。私達現地採用従業員は、在日米軍人とその家族が安心して快適に仕事や生活ができるようサポートします。その彼らに『日本に来てよかった、また日本に戻って来たい』と言われた時はやりがいを感じます。そしてより質の高いサービスを提供し続けていきたいと思っています。

キャンプハンセン 歯科衛生職

海軍第3歯科大隊 上運天 縁 さん



前職の経験を活かしています。

患者さん(主に兵隊)は、年に1度の歯科検診を義務付けられており、ドクターの指示に従い、1日に7~8人程度、歯のクリーニングを行います。基地内で勤務する前は、民間で同じ歯科衛生士として働き、結婚、出産を経て仕事復帰の際、基地内で歯科衛生士を募集しており、タイミング良く採用が決まり働き始めました。歯科衛生士としてのやりがいは、状態の良くなかった患者さんが、時間と回数をかけてクリーニングしていく中で、改善が見られ、最後には「ありがとう」と笑顔で感謝してもらえます。基地内従業員を目指す皆様、アメリカ文化に興味があり、多様な考え方を学びたい方は、是非、挑戦されてみてください。きつと働く中で、自分の持つ強さを学ぶことができますよ。

●その他の職種に関する記事についても、エルモホームページ「各地の職場から」に掲載しています。
<https://www.lmo.go.jp/recruitment/index4.html>

